

# 日本史授業プリント近代2 1 (093) 明治文化 (2)

2年 組 番 \_\_\_\_\_

## 明治の思想

※仏教界にも革新運動 <例> 1 島地黙雷 (浄土真宗 欧州を視察)、井上円了、清沢満之、河口慧海

2 啓蒙思想の紹介 (功利主義・天賦人權論・社会進化論) 明治10年代まで (→近代9)

→ 4 国権 …国家の独立維持や対外膨張(=国権)を重視 ナショナリズム 明治20年代以降

**背景** { 条約改正の難航…不平等条約への反発 政府の欧化主義政策(鹿鳴館外交など)への反発  
対外的緊張…朝鮮問題(甲申事変など)・日清戦争

(1 a) 5 平民主義…雑誌『6 国民之友』(7 民友社 1887～)



政府の欧化主義を貴族的として批判 生活の向上など 8 平民的欧化主義を主張

9 徳富蘇峰、竹越与三郎、山路愛山ら

(1 b) 10 国粹(保存)主義…雑誌『11 日本人』(12 政教社 1888～)

欧米文化の模倣を批判 日本古来の伝統や文化を強調(13 近代的民族主義)

14 三宅雪嶺、志賀重昂(『日本風景論』)、15 杉浦重剛、16 島地黙雷、井上円了ら

15 国民主義…新聞『16 日本』(日本新聞社1889.2.11.～)中心は17 陸羯南

表面的な欧化政策に反対 国家の独立や国民的統一を重視 三宅雪嶺、正岡子規ら

**日清戦争** → 18 徳富蘇峰も対外膨張論へ変化

(2) 19 日本主義…20 高山樗牛(雑誌『21 太陽』(1895～)主幹:小説『瀧口入道』)中心

欧米文化(特にキリスト教)の排撃 天皇制を中核 ほかに井上哲治郎ら

**日露戦争** → 個人主義的傾向が強まる → 22 戊申証書(1908)…政府は勤労と倭約を強調

## ジャーナリズム ※ 24 本木昌造による鉛製活字印刷(1869～)

25 大新聞(政治評論中心)と26 小新聞(娯楽面を重視) ※『27 官報』…政府の公報

新聞 <例> 28 横浜毎日新聞(1870.初の日刊新聞) 29 郵便報知新聞(1872.改進黨系)

30 東京日日新聞(1872.政府御用新聞) 31 朝野新聞(1874.自由民権派 成島柳北社長)

32 朝日新聞(1879.大阪で村上竜平が創刊 のち東京朝日と大阪朝日へ)

33 読売新聞(1874.子安峻) 34 時事新報(1882.福沢が創刊 報道重視)

大阪毎日新聞(1888) 国民新聞(1890.徳富蘇峰) 二六新報(1893) 都新聞

雑誌 <例> 35 中央公論(1899.滝田樗陰 →大正デモクラシーの中心)

【時代傾問題に挑戦】<センター2016年A・B追試験より>

- I ②三宅雪嶺らが、政府の欧化主義を批判して、雑誌『日本人』を創刊した。
- II ③政府が小学校の国定教科書制度を実施し、国民の思想・教育に対する統制が強まった。
- III ①明六社のメンバーが、『明六雑誌』を発行して、啓蒙思想の普及につとめた。

## 近代美術

洋画の誕生 36 高橋由一 (ゆいち) … 37 ワグマン [英] に師事 日本近代洋画の開拓者 「鮭」 (1877頃)

39 工部美術学校 設立 (1876) … 西洋美術を移植 外国人教師 (主に 40 イタリア)

41 フォンタネージ (絵画)、42 ラグーザ (彫刻) ※ 43 キヨソネ (銅版画) は大蔵省紙幣寮

→ 44 浅井忠 (「収穫」「春畝」など) ら育成

→ 閉鎖 (1883) … 伝統美術育成へ (古美術の再評価) → 洋画の衰退

日本画復興 46 東京美術学校 設立 (1887) ※ 西洋画科なし (のち設置) → 東京芸大 (1949)

47 フェノロサ [米]、48 岡倉天心 の尽力 ※ 法隆寺夢殿救世観音像の「発見」

49 日本美術院 (1898) … 天心ら 在野の美術団体 → 1906年茨城県五浦へ → 衰退

<例> 50 狩野芳崖 (かのうぼうえい) 「悲母観音」、52 橋本雅邦 (がほんま) 「竜虎図」、53 横山大観 「無我」、

54 菱田春草 「落葉」「黒き猫」、55 下村観山 「大原御幸」、56 竹内栖鳳 「アレ タ立に」

洋画の再興 57 明治美術会 結成 (1889) … 浅井忠ら 日本初の洋画団体 ~1901

58 白馬会 独立 (1896) … 61 フランス印象派 の影響 62 外光派 (明るい色彩)

63 黒田清輝 (くろだせいけい) 「湖畔」「読書」、65 青木繁 (あおきしげる) 「海の幸」

67 藤島武二 (ふじまたけじ) 「天平の面影」「蝶」、68 久米桂一郎 (くみけいいちろう) 「裸婦」、

69 和田英作 (わだえいさく) 「渡頭の夕暮」、70 和田三造 (わださんぞう) 「南風」、71 赤松麟作 (あかまきりんさく) 「夜汽車」

72 太平洋画会 (1902) … 満谷国四郎 (みつたに) 白馬会と2大団体 外光派に対し 73 脂派 (あぶらばい)

彫刻 伝統的木彫と西洋の彫塑が対立・競合

<例> 74 高村光雲 (たかむらみつぐん) 「老猿」、76 竹内久一 (たけうちひさかず) 「伎芸天像」、77 新海竹太郎 (しんかいたけだう) 「ゆあみ」、

78 荻原守衛 (おぎわらもりゑ) (礫山) (ロダンに師事) 「女」「坑夫」 80 朝倉文夫 (あさくらぶんお) 「墓守」 長沼守敬 (もりよし) 「老夫」

☆ 81 文展 (82 文部省美術展覧会) 開設 (1907) … 日本画・洋画・彫刻 共栄をめざす発表の場

建築 83 コンドル ([英]) … 84 鹿鳴館・ニコライ堂・旧岩崎邸

→ 弟子 85 辰野金吾 (たしのきんご) (86 東京駅, 日本銀行本店)、87 片山東熊 (かたやまとうくま) (88 赤坂離宮 (迎賓館), 京都・奈良国立博物館)

音楽 洋楽の採用 <例> 軍楽隊の結成 (1869)

89 音楽取調掛 (とりしらべがかり) の設置 (1879) … 90 メーソン [米] ・ 91 伊沢修二 (いざわしゅうじ) → 92 唱歌 を作成

→ 93 東京音楽学校 (1887) … 94 滝廉太郎 (たきのりょうたろう) (「荒城の月」「花」など) ら → 東京芸大

95 演歌 … 民権運動の壮士が時事を演説がわりに街頭で歌ったことから

浪花節 (浪曲) … 三味線に合わせた語り物

明治の思想

※仏教界にも革新運動 <例>1 \_\_\_\_\_ (浄土真宗 欧州を視察)、井上円了、清沢満之、河口慧海

2 啓蒙思想の紹介 (功利主義・天賦人權論・社会進化論) 明治10年代まで (→近代9)

→4 \_\_\_\_\_ …国家の独立維持や対外膨張(=国権)を重視 ナショナリズム 明治20年代以降

背景 { 条約改正の難航…不平等条約への反発 政府の欧化主義政策(鹿鳴館外交など)への反発  
対外的緊張…朝鮮問題(甲申事変など)・日清戦争

(1 a) 5 平民主義…雑誌『6 \_\_\_\_\_』(7 民友社 1887～)



政府の欧化主義を貴族的として批判 生活の向上など8 平民的欧化主義を主張

9 \_\_\_\_\_、竹越与三郎、山路愛山ら

(1 b) 10 国粹(保存)主義…雑誌『11 \_\_\_\_\_』(12 政教社 1888～)

欧米文化の模倣を批判 日本古来の伝統や文化を強調(13 近代的民族主義)

14 \_\_\_\_\_、志賀重昂(『日本風景論』)、杉浦重剛、島地黙雷、井上円了ら

15 国民主義…新聞『16 \_\_\_\_\_』(日本新聞社1889.2.11.～) 中心は17 \_\_\_\_\_

表面的な欧化政策に反対 国家の独立や国民的統一を重視 三宅雪嶺、正岡子規ら

日清戦争 → 18 徳富蘇峰も対外膨張論へ変化

(2) 19 日本主義…20 高山樗牛(雑誌『21 \_\_\_\_\_』(1895～)主幹:小説『瀧口入道』)中心

欧米文化(特にキリスト教)の排撃 天皇制を中核 ほかに井上哲治郎ら

日露戦争 → 個人主義的傾向が強まる → 22 戊申証書(1908)…政府は勤労と倭約を強調

ジャーナリズム ※ 24 本木昌造による鉛製活字印刷(1869～)

25 大新聞(政治評論中心)と26 小新聞(娯楽面を重視) ※ 『27 官報』…政府の公報

新聞 <例>28 横浜毎日新聞(1870.初の日刊新聞) 29 郵便報知新聞(1872.改進黨系)

30 東京日日新聞(1872.政府御用新聞) 31 朝野新聞(1874.自由民権派 成島柳北社長)

32 朝日新聞(1879.大阪で村上竜平が創刊 のち東京朝日と大阪朝日へ)

33 読売新聞(1874.子安峻) 34 時事新報(1882.福沢が創刊 報道重視)

大阪毎日新聞(1888) 国民新聞(1890.徳富蘇峰) 二六新報(1893) 都新聞

雑誌 <例> 35 丸々珍聞(風刺 1877) 女学雑誌(1885.巖本善治) 少年世界(1895) 風俗画報(1899)、

35 中央公論(1899.滝田樗陰 →大正デモクラシーの中心)

【時代傾問題に挑戦】<センター2016年A・B追試験より>

- I 三宅雪嶺らが、政府の欧化主義を批判して、雑誌『日本人』を創刊した。
- II 政府が小学校の国定教科書制度を実施し、国民の思想・教育に対する統制が強まった。
- III 明六社のメンバーが、『明六雑誌』を発行して、啓蒙思想の普及につとめた。

## 近代美術

洋画の誕生 36高橋由一<sup>ゆいち</sup>…37ワグマン[英]に師事 日本近代洋画の開拓者 「38鮎」(1877頃)

39 \_\_\_\_\_ 設立(1876)…西洋美術を移植 外国人教師(主に40イタリア)  
41フォンタネージ(絵画)、42ラグーザ(彫刻) ※43キヨソネ(銅版画)は大蔵省紙幣寮  
→44 \_\_\_\_\_ (「45収穫」「春畝」など)ら育成  
→閉鎖(1883)…伝統美術育成へ(古美術の再評価) →洋画の衰退

日本画復興 46 \_\_\_\_\_ 設立(1887) ※西洋画科なし(のち設置) →東京芸大(1949)

47フェノロサ[米]、48 \_\_\_\_\_ の尽力 ※法隆寺夢殿救世観音像の「発見」  
49 \_\_\_\_\_ (1898)…天心ら 在野の美術団体 →1906年茨城県五浦<sup>いづら</sup>へ →衰退  
<例>50 \_\_\_\_\_ 「51悲母観音」、52橋本雅邦<sup>がほう</sup>「竜虎図」、53横山大観「無我」、  
54菱田春草「落葉」「黒き猫」、55下村観山「大原御幸」、56竹内栖鳳「アレ タ立に」

洋画の再興 57 \_\_\_\_\_ 結成(1889)…浅井忠ら 日本初の洋画団体 ~1901

58 \_\_\_\_\_ 独立(1896)…61フランス印象派の影響 62外光派(明るい色彩)  
解 散  
<例> 63 \_\_\_\_\_ 「64湖畔」「読書」、65青木繁「66海の幸」  
67藤島武二<sup>たけじ</sup>「天平の面影」「蝶」、68久米桂一郎<sup>らふ</sup>「裸婦」、  
69和田英作<sup>とどう</sup>「渡頭の夕暮」、70和田三造「南風」、71赤松麟作<sup>りんさく</sup>「夜汽車」  
72太平洋画会(1902)…満谷国四郎<sup>みつたに</sup> 白馬会と2大団体 外光派に対し73脂派<sup>やには</sup>

彫刻 伝統的木彫と西洋の彫塑が対立・競合

<例> 74 \_\_\_\_\_ 「75老猿」、76竹内久一<sup>きゆういち</sup>「伎芸天像」、77新海竹太郎「ゆあみ」、  
78荻原守衛<sup>おぎわらもりえ</sup>(礫山<sup>ろくざん</sup>) (ロダンに師事)「79女」「坑夫」 80朝倉文夫「墓守」 長沼守敬<sup>もりよし</sup>「老夫」

☆81 \_\_\_\_\_ (82文部省美術展覧会)開設(1907)…日本画・洋画・彫刻 共栄をめざす発表の場

建築 83コンドル([英])…84鹿鳴館・ニコライ堂・旧岩崎邸

→弟子 85辰野金吾(86東京駅、日本銀行本店)、87片山東熊<sup>とうくま</sup>(88赤坂離宮(迎賓館)、京都・奈良国立博物館)

音楽 洋楽の採用 <例> 軍楽隊の結成(1869)

89音楽取調掛<sup>とりしらべがかり</sup>の設置(1879)…90メーソン[米]・91 \_\_\_\_\_ →92唱歌を作成

↳93東京音楽学校(1887)…94滝廉太郎(「荒城の月」「花」など)ら →東京芸大

95演歌…民権運動の壮士が時事を演説がわりに街頭で歌ったことから

浪花節(浪曲)…三味線に合わせた語り物